

情 報

1 学習指導と評価の改善・充実

専門教科「情報」は、情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることをねらいとしている。

これらを達成するために、学習指導に当たっては、個別指導やグループ別指導、少人数指導、ティームティーチング等、個々の生徒の理解力や習熟度等に応じたきめの細かい指導を行うとともに、コンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を駆使した学習等を通して、学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、個に応じた指導を充実させることが大切である。

評価に当たっては、生徒の学習状況を分析的に捉える観点別学習状況の評価を、日常の授業においても適切に実施し、きめの細かい学習指導と生徒一人一人の学習内容の確実な定着を図ることが重要である。

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

(1) 単元「SNSの利用規約」における評価規準例

科目「情報産業と社会」の内容 (3)「情報産業と情報モラル」において、単元「SNSの利用規約」の評価規準例を示す。ここでは、情報社会を構成する一員として情報社会において適切な行動を行うための基になる考え方と態度を育成するようにしている。

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
単元の評価規準	SNSの利用規約を通して、情報セキュリティ対策に関心をもち、情報技術者として正しく行動する態度を身に付けようとしている。	SNSの利用規約を通して、情報セキュリティ対策の必要性和重要性や情報リスクについて考え、情報技術者として適切に判断し、表現している。	SNSの利用規約を通して、情報リスクに適切に対応するために必要な情報セキュリティの管理に関する基礎的な技術を身に付け、適切に利用している。	SNSの利用規約を通して、情報セキュリティや情報リスクに関わる基礎的な知識を身に付けている。
学習活動に即した評価規準	① SNSの利用規約の重要性に関心をもち、各種SNSの利用規約について主体的に調べ、ワークシートにまとめている。 ② グループ協議や各グループの説明において、利用規約の必要性について積極的に意見を述べたり考えようとしている。	① 不正アクセスや情報の漏洩、滅失、棄損等の情報リスクの種類に応じた利用規約を考えている。 ② 個人のプライバシー侵害や著作権などの知的財産の不正利用を回避するためのソフトウェア機能を考えている。	① SNSの利用規約に沿った利用者登録ができ適切なプロフィール設定をしている。 ② ユーザIDやパスワードについて、情報セキュリティに配慮して管理している。	① 実際のSNSにどのような利用規約が規定されているのか、その特徴と内容を理解している。 ② SNSの利用規約には不正アクセスや情報の漏洩防止等、情報リスクへの対策が含まれていることを理解している。

(2) 授業評価を組み合わせた自己評価シート例

評価では、個に応じた指導を充実させるために、生徒の学習状況を検証し、自らの学習指導の在り方を見直すことが必要である。そのためには、授業終了後に生徒自身に学習の到達度を記入させることで、教員は生徒一人一人の学習状況を把握することが可能となり、それを分析することで事後の指導計画の改善に生かすことが可能となる。そこ

で、授業評価を組み合わせた自己評価シート例を示す。

単元の目標	ソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)について、グループ単位でSNSの利用規約を考案する学習活動を通して情報の漏洩、滅失、棄損等の情報リスクの存在について理解を深めさせるとともに、情報技術者として正しい行動がとれる態度を養う。	
単元の学習項目	学習目標	自己評価の内容
○SNSの利用規約について調査する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSの利用規約にはどのような事例があるかを理解できたか。 ・ SNSの提供者、対象となる利用者も含めてWebサイトで調べ、ワークシートにまとめることができたか。 	<p>【知識・理解①】</p> <p>生徒は、自己評価を行うことで、学習目標に対してどの程度達成できたかを自分自身で把握できるようになる。</p>
○実習用SNSを使用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者登録を実名で行い、記事の投稿方法を身に付けることができたか。 	<p>【技能①】</p> <p>Ⓐ B C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニックネームによる利用者登録も行い、投稿された記事が実名の場合とどのような違いがあるかを考えることができたか。 	<p>【技能②】</p> <p>A Ⓑ C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習用SNSからの脱会処理をすることができたか。 	<p>【技能①】</p> <p>Ⓐ B C</p>
○グループを作成し、SNSの利用規約を考案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な題材を用いてSNSの名称とSNSのサービスを定義し利用規約について協議することができたか。 	<p>【関心・意欲・態度②】</p> <p>Ⓐ B C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの話し合いを基に、利用規約を考案することができたか。 	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>A B Ⓒ</p>
○グループで考案したSNSの内容を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSの利用規約として必要な事項をまとめ、考案した内容を説明できたか。 	<p>【関心・意欲・態度②】</p> <p>A Ⓑ C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他のグループの説明を聞き、質問するなどして議論を深めることができたか。 	<p>【関心・意欲・態度②】</p> <p>A Ⓑ C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表内容を踏まえ、グループが考案したSNSの利用規約の見直しを行うことができたか。 	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>A Ⓑ C</p>
○SNSにおける情報リスクについて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーの侵害や著作権などの知的財産の不正利用を回避するためのソフトウェア機能を考えることができたか。 	<p>【思考・判断・表現②】</p> <p>A Ⓑ C</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーの侵害や著作権保護に関する事項について、実際の利用規約に必ず明記されている事を確認することができたか。 	<p>教員は、自己評価欄の結果を基に、生徒の多様な学びに応じた指導の工夫に生かすことができる。</p>

A 十分満足できる B おおむね満足できる C 努力を要する

3 まとめ

生徒には、学習活動ごとに生徒自身に学習の状況を振り返らせ、学習の到達状況を把握させることが必要である。その中で、自己評価に「C」(できなかった)を付けた生徒については、グループ内の他の生徒と情報収集の方法について相談させることやグループ内で出された意見を整理させることを通して、情報の漏洩、滅失、棄損等の情報リスクの存在について気付かせるとともに、必要に応じて教師が適切な支援を行うことが重要である。